



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2021年9月号 (第304号)



「アクション油ヶ淵 2021」を開催します (P3)



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」第7期の活動がスタートしました (P5)



地球温暖化防止活動推進員の活動を紹介します (P4)



岡崎市立生平小学校

「第51回愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しました (P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは
こちらから



今月号とバックナンバーを掲載しています。



フロン類の大气中への放出を防ぎ オゾン層の保護・地球温暖化防止に努めましょう！

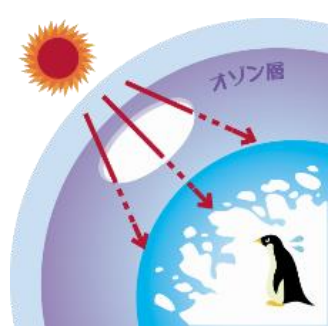


オゾン層とは

地上 10～50km 上空のオゾンが多く存在する大気の層をオゾン層といいます。

太陽光には、生物にとって有害な「紫外線」が含まれており、オゾン層がこの紫外線を吸収することによって、地上を生物が棲むことができる環境にしています。

オゾン層が破壊されると、皮膚ガンや白内障が増加したり、免疫力が低下するなど、生物に悪い影響を与えます。



フロン類とは

フロン類 (CFC、HCFC、HFC) は、人体に毒性がない、燃えにくい、化学的にも安定している、取扱いが容易など多くの利点があるため、エアコンや冷凍・冷蔵庫の冷媒、半導体の洗浄剤や断熱材の発泡剤など様々な用途に使われています。しかし、フロン類の中には、大気中に放出されると、オゾン層まで到達してオゾン層を破壊するものや、二酸化炭素の数百倍から数万倍の温室効果により、地球温暖化に大きな影響を与えるものがあります。

日本をはじめ、世界中でオゾン層を破壊せず、温室効果の小さいノンフロン冷媒への転換を進めていますが、今までに生産され、使用されているフロン類が現在もたくさん存在しています。

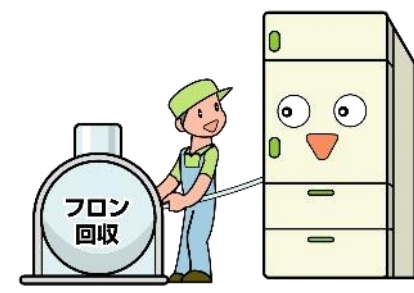
オゾン層を保護するために

1987年9月16日に「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が採択され、フロン類の生産量・消費量の規制が段階的に行われるようになりました。改めてオゾン層保護の重要性を認識するとともに、地球温暖化防止のためにも、次の取組を進めましょう。

★フロン類の回収を依頼しましょう

冷蔵庫やエアコンを廃棄するときには、フロン類が大気中に放出されないよう、適切に回収・処理しなければなりません。

家庭用の冷蔵庫・エアコンを廃棄する際は家電小売店に廃棄を依頼してください。また、業務用の冷凍冷蔵機器・エアコンを廃棄する際はフロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。



★点検、修理に努めましょう

使用中の冷蔵庫やエアコンから異音がある、冷えなくなったなど、普段と異なる症状がみられる場合には、フロン類が漏れているおそれがありますので、直ちに専門業者に点検、修理を依頼してください。

なお、フロン排出抑制法では、業務用の冷凍空調機器については、3か月に1回の「簡易点検」が、一定規模以上の冷凍空調機器については、その規模により1年又は3年に1回以上の専門業者による「定期点検」が義務付けられています。

また、機器の「点検記録簿」は、機器の廃棄後も3年間は保存しておく必要があります。

★ノンフロン製品を選びましょう

製品購入時には、下のマークが目印のフロン類を使っていない製品を選ぶようにしましょう。



水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

「アクション油ヶ淵2021」を開催します



油ヶ淵は、愛知県内唯一の天然湖沼です。この油ヶ淵への関心を深め、楽しみながら環境のことを学ぶため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*の主催で、「アクション油ヶ淵2021」を開催します。

参加は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

1 日時 10月3日(日) 10:00~15:00

2 場所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園
(安城市東端町丸ノ内)

3 内容

(1) 体験型講座(事前申込制)

「ミニビオトープづくり」 ミニビオトープ

時間 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

対象 小中学生及びその保護者
(小学生は保護者同伴)

定員 各回20名程度(保護者を含む。)



(2) 各種イベントブース

ア 生きものブース

「生きものタッチプール」「令和版うなぎ釣り」

イ 工作ブース

「あぶちゃんペーパークラフト作り」

ウ 体験ブース

「水質調査体験」「水質浄化実験」

「油ヶ淵にぷーかぷか」



あぶちゃん

詳細及び事前申込はWebページをご覧ください。

(<https://www.aburagafuchi.jp/>)

天候や新型コロナウイルス感染症の影響等により、内容が変更又は中止になる場合があります。

*油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。愛知県と油ヶ淵周辺4市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)で構成。

水大気環境課生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)



「2022 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています

愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、資源循環や環境負荷低減に関する優れた取組を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

2 募集対象者

企業、団体又はグループ(個人の応募は不可)

3 募集対象事例

省資源、省エネルギー、3R、新エネルギー活用などの資源循環や環境負荷低減に関する先駆的で効果的な県内の<技術・事業>及び<活動・教育>の事例

4 募集期間

9月1日(水)から10月29日(金)まで(必着)

5 応募方法

応募用紙に必要事項を記載の上、10部(正本1部、副本9部)を持参又は郵送で提出してください。

また、全てのデータを格納したCD-R等の電子媒体も併せて1部提出してください(Eメール不可)。

応募用紙はWebページからダウンロードできます。

6 提出先

愛知県環境局資源循環推進課循環グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

7 選考結果の公表

2022年1月下旬予定

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou>)

資源循環推進課 循環グループ

電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)



希少植物（ケブカツルカコソウ）の 保全事例を紹介します



ケブカツルカコソウは、愛知県の里山を特徴づけるシソ科の多年生植物です。尾張地域を中心に広く分布していましたが減少が著しく、県のレッドリストでは、絶滅危惧 I B 類に指定されています。

県では、「^{ふたむらやま}二村山豊かな里山づくりの会」（豊明市）の^{あさのもりひこ}浅野守彦会長から、豊明市内の境川堤防の自生地が工事予定地にあり、消滅の危機にあるとの情報を得たことから、保全生態学の専門家である名古屋工



約 40 名が参加した移植作業

業大学の^{ますだみちこ}増田理子教授の提言を受けて、昨年 12 月に増田研究室や同会のメンバー、地元企業、県などが参加して、自生地の近くへの移植を実施しました。増田研究室の^{いなよしけん}稲吉賢人さんによると、今年 3 月には概ね 8 割程度が根付いていることを確認したとのことで、5 月には満開の花を見ることができました。

県では、これからも希少動植物の保全に向けて、市民団体や有識者等と連携した取組を推進していきます。



ケブカツルカコソウ

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475（ダイヤルイン）〕

地球温暖化防止活動推進員の活動を紹介します



1 地球温暖化防止活動推進員とは

地球温暖化防止活動推進員は、地域における地球温暖化の現状や地球温暖化対策に関する知識の普及とその推進を図るため、知事から委嘱された専門的人材です。愛知県では、167 名（2021 年 8 月現在）が委嘱を受け、精力的に活動を行っています。

2 地球温暖化防止活動推進員の活動について

(1) ストップ温暖化教室

県内の小学校等で、実験やクイズなどを通して、温暖化について楽しく学ぶ機会を提供する「ストップ温暖化教室」の講師を務めています。

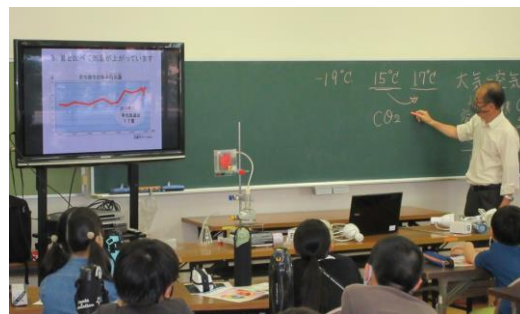
昨年度は、5,815 名の小学生を対象に教室を実施しました。

(2) ブース出展

温暖化防止に向けた賢い選択を促す「^{クール}あいち COOL ^{チョイス}CHOICE」を啓発するため、市町村等が開催するイベ

ントや大型ショッピングモール等において県が出展するブースのスタッフとして活動しています。

ブースでは自転車発電の体験を始め、エコドライブや省エネ家電への買換えなどの呼び掛けを県民の皆さんに紹介しています。



ストップ温暖化教室の様子

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/0000004630.html>)



〔地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）〕



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」

第7期の活動がスタートしました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生が
研究員となり、パートナー企業から提示された環境
課題に対して、解決策を提案する「かがやけ☆あい
ちサスティナ研究所」の活動がスタートしました。

8月8日（日・祝）に愛知県自治センターで開か
れた開所式には、研究所の所長である大村知事、第
7期生の研究員39名、パートナー企業8社の皆さん、
ファシリテーター及び大学の教員の皆さんが出席し
ました。

大村知事からは、研
究員へのお祝いと激励
の挨拶があり、パート
ナー企業の皆さんから
も研究員の活躍を期待
するコメントをいただ
きました。



また、研究員を代表 **大村知事からの激励の挨拶**
して抱負を述べていただいた、南山大学の^{ひらた}平田くる
みさんの志望動機は「未来を担う若者の意識が向上
すれば、よりサステナブルな社会を創造できる。同

世代の立場から気軽に
楽しく利用できる商品
やサービスを考えたり、
PRしたい」であり、開
所式では、「これからの
研究所活動について期
待と不安でいっぱい
ですが、学生らしい発想
で、魅力ある成果を発表できるよう頑張ってい
きます。期待していただき、頼もしい抱負が
述べられました。



研究員代表 平田くるみさん

8月中旬から本格的な活動が始まっており、現地
での調査や企業担当者とのディスカッションを通し
て、12月に成果発表会を行います。県としては、研
究員が研究所活動に自分らしく前向きに取り組むこ
とで、持続可能な社会の実現に向けて行動できる“か
がやく”人づくりを目指していきます。

〔 環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン) 〕



研究員はじめ関係者の皆さん

パートナー企業 (50音順)	環境課題
(株) コメダ	お客様がコメダでくつろぎながら、環境や社会に貢献できる商品やサービスを提案せよ
(株) サーラコーポレーション	持続可能な社会に貢献する新たな暮らしのサービスを検討せよ
中京テレビ放送(株)	SDGsをテーマに、視聴者に訴えかけるネットと連動したテレビ番組を企画せよ
中部テレコミュニケーション(株)	高速回線を活用した、親子で学べるサスティナブルなコンテンツを検討せよ
豊島(株)	アパレル業界から食品ロス問題の解決に立ち向かうブランド「FOOD TEXTILE」の効果的なPR方法を検討せよ
日本ガイシ(株)	日本ガイシと持続可能な未来を考える、グローバルな環境教育プログラムを検討せよ
ホーユー(株)	人も環境も美しく。サステナブルな未来に向けてヘアカラーが貢献できる企画・サービスを検討せよ
吉本興業(株)	2030年を笑顔であふれる世界に！笑って学べる、SDGs体験型プログラムを検討せよ

第51回愛知県野生生物保護実績発表大会 ～輝く未来のいきものサポーター～を開催しました



1 目的

愛知県では、生物多様性保全の観点から、野生生物や自然環境の保全活動を普及・啓発することを目的に1971年度から「愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しています。

2 大会内容

「第51回愛知県野生生物保護実績発表大会」は、8月5日、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場者を入れ替え制にするなどの対策を講じた上で刈谷市産業振興センターにて開催しました。県内の野生生物保護等の活動を行っている9校が、それぞれの取組について発表を行いました。

各校の発表では、野鳥やホタルの保全活動、魚や昆虫などの希少種の保全、生物調査など、生物多様性保全の観点から地域の自然特性を活かした取組が紹介されました。

コロナ禍の中でも、子どもたちの活動意欲は衰えることなく、未来を見据えた創意工夫のある取組は、自然への愛着が感じられ、多様性に富んだものでした。輝きを放った素晴らしい未来の生きものサポーターとして、今後も息の長い活動を期待しています。

3 審査結果

(五十音順)

愛知県知事賞	
岡崎市立生平小学校	野鳥がすみ続ける自然豊かな『生平』を目指して
豊田市立滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 (蒲郡市)	海の豊かさと陸の豊かさを 守るために、水産高校生が できること
愛知県教育委員会賞	
岡崎市立河合中学校	河合の宝 ゲンジボタル —伝統の継続 そして一歩 前進—
岡崎市立美合小学校	生田蛭は「美合の宝」 ～トライ&エラー 自分で できることに 挑戦しよう 1年目～
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	
愛知県立時習館高等学校 SSH生物部 (豊橋市)	三河湾の環境調査 ～海・河川・干潟の環境と 生物調査～
岡崎市立東海中学校 自然科学部	次代へつなぐ私たちの宝 ～東海の誇りある自然を守る ために～
公益社団法人愛知県獣医師会賞	
桜丘高等学校 生物部 (豊橋市)	絶滅危惧種「タガメ」の繁殖と展望
愛知県立佐屋高等学校 科学部 (愛西市)	水田生物の保護と生態系の保全

愛知県知事賞受賞校
の発表の様子



豊田市立滝脇小学校



岡崎市立生平小学校



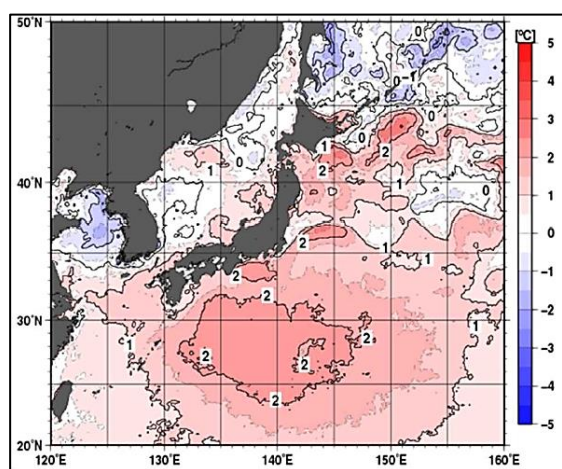
愛知県立三谷水産高等学校

〔 自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン) 〕

1 世界と日本の海面水温の変動傾向

2021年4月に気象庁から公表された「気候変動監視レポート 2020」は、世界全体の海面水温が、100年あたりの年平均で0.56℃上昇したのに対し、日本近海ではその倍以上の1.16℃上昇したと報告しています。

特に、2020年8月は、日本の南を中心とした海域において、月平均海面水温が、解析値のある1982年以降で最も高くなりました。



2020年8月の月平均海面水温の年平均偏差
 平年値は1981～2010年の平均値
 (気候変動監視レポート 2020 より引用)

東・西日本から南海上にかけて太平洋高気圧の勢力が強く、暖かい空気に覆われ、日射も強かったことに加え、これらの海域を8月まで台風の中心が通過せず、台風による海面水温の低下が少なかったことが要因として考えられています。これらの海域を含む北太平洋の海面水温が史上最高を記録したことについて、国立環境研究所は、発生要因の分析を行い、「過去の人間活動に伴う温室効果ガスの増加などにより、観測されたような海面水温の高温の発生頻度が著しく増加している」と発表しています。

海面水温が高い海域を通過する台風は、発達又は勢力を維持する傾向があるため、日本の南の海域で海面水温が高くなると、台風が日本に及ぼす危険性が高まると考えられています。

「気候変動監視レポート 2020」(気象庁)
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2104/28a/ccmr2020.html>



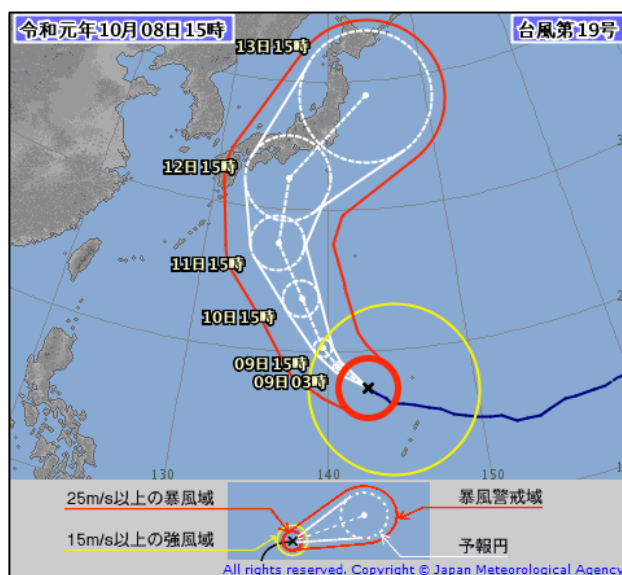
2 台風情報の見方 (適応策)

台風情報の中でも目にすることが多い「台風経路図」について、×印は予報発表時刻の台風の中心位置を示し、実線で現在までの台風の経路が示されます。×印を中心とした内側の円は暴風域(平均風速が25m/s以上)で、外側が強風域(同15m/s以上)です。破線の円は、「予報円」といい、台風の大きさの変化を表すものではなく、台風の中心が到達すると予想される範囲を示しています。予報した時刻に、この円内に台風の中心が入る確率が70%であることを表しており、予報円が大きい場合、台風の進路の不確実性が大きいことを示します。予報円の中心を結んだ線を表示することもあります。台風の中心が必ずしも線に沿って進むわけではないことに注意が必要です。予報円の外側を囲む実線は、暴風警戒域を示しています。

台風情報の正しい見方を身につけることは、台風による影響から身を守ることに役立ちます。

詳細は気象庁 Web ページをご覧ください。

台風情報の種類と表現方法 (気象庁)
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/typhoon/7-1.html>



台風経路図の例
 (気象庁 Web ページより引用)

環境調査センター 企画情報部
 気候変動適応センター
 電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



あえる
「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を
開催中です



愛知県内の環境学習施設等 175 か所で、「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催中です。

対象施設等への来館、講座・イベントへの参加によりスタンプを集めてご応募いただくと、スタンプの数に応じて、抽選で図書カードなどの記念品をプレゼントします。

1 開催期間

2022年2月23日（水・祝）まで

2 場所

AEL ネットに加盟する 175 施設等

※一部の施設、講座・イベントは、有料又は事前予約が必要です。

※施設数は、増減する可能性があります。最新の状況は Web ページでご確認ください。



エコリー*



エコりん*

3 記念品

・A賞～C賞：図書カード

- A賞：5,000円分【スタンプ9個】…抽選で5名
- B賞：3,000円分【スタンプ6個】…抽選で20名
- C賞：1,000円分【スタンプ3個】…抽選で100名

・Wチャンス賞：A賞～C賞までの抽選に外れた方の中から、抽選で450名にスタンプラリー参加施設のオリジナルグッズセットをプレゼント

・電子クイズ参加賞：電子スタンプ帳でスタンプを獲得した際に表示されるクイズに3問以上挑戦して応募した方の中から、抽選で50名に木製オリジナルキーホルダーキットをプレゼント

4 応募方法等

(1) 応募方法

・電子スタンプ帳

①AEL ネット環境学習

スタンプラリーの Web ページにアクセスしてアカウントを登録し、ログインする。

②施設等にある QR コードをスマートフォン等で読み取り、スタンプを集める。

③Web ページの応募フォームから応募する。

・紙版スタンプ帳

①スタンプラリー参加施設等で入手できるスタンプ帳・応募用紙に付いている応募ハガキにスタンプを集める。

②応募ハガキに切手を貼り郵送する。

※電子と紙版のスタンプの合算はできません。

それぞれで集めてご応募ください（複数応募可）。



エコポン*

(2) 応募期限

2022年3月2日（水）まで

※紙版スタンプ帳の場合は、当日消印有効

(3) 当選発表

厳正なる抽選の上、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://ael-stamp.jp>)

*エコアクションを題材としたキャラクターです。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)



※掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2021年9月6日発行(第304号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

まだまだ暑い日が続いていますね。9月は、秋雨前線や台風の影響で湿度が高くなることもあり、暑さのピークは過ぎたものの引き続き熱中症には十分注意が必要です。

いつでも水分補給ができるよう、マイボトルを用意する、冷房を使用する際は、扇風機を併用するなど、プラごみ削減や省エネも心がけながら体調管理をしていきたいと思います。

(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。「あいちの環境」は右の QR コードからアクセスできます。

※ QR コードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

